

第72回長崎大学学長選考・監察会議議事要旨

1 日 時 令和5年7月6日（木）13：30～14：44

2 場 所 長崎大学事務局第1会議室

3 議 事

(1) 学長候補者の選考について

議長の求めにより、事務局から、本日の学長候補者選考の流れについて説明があり、その後、第2次学長候補適任者に対する面接を実施した。

なお、主な質疑は以下のとおり。

- 「プラネタリーヘルス」について、特に人文社会系の今後の取り組みについてご教示願いたい。
- 今後の医工連携についてどのように取り組まれるのかご教示願いたい。
- カーボンニュートラルを実現するための長崎大学としての政策をプラネタリーヘルスの中にどのように取り込んでいくのかご教示願いたい。
- プラネタリーヘルスを含めた長崎大学の様々な特徴や政策を内外に向けてどのようにアピールしていくのかご教示願いたい。
- 今後の学外機関等との連携についてご教示願いたい。
- 長崎の教育界との連携及び長崎の教育界に期待することについてご教示願いたい。
- 優秀な人材の確保やキャリアパスについてご教示願いたい。
- 女性教職員の確保やキャリアパスについてご教示願いたい。

面接終了後、議長から、学長候補者としてふさわしいか否かについて、その理由とともに委員に対し意見を求めたところ、全ての委員から学長候補者としてふさわしい旨の意見が示されたことから、永安 武氏を学長候補者とする事が決定された。

なお、各委員から示された選考理由は概ね以下のとおり。

- 「求める学長像」に合致していること。
- 長崎大学の将来像や今後の改革の方向性において、「未来を切り拓く、学びと研究の融合」として、具体的で明確なビジョンや戦略が示されていること。
- これまでの築いてきた改革を踏まえながら、長崎大学の更なる発展が期待されること。

続いて、議長から、永安 武氏に選考結果、選考理由等の伝達及び意思確認を行った後、資料4に基づき、長崎大学学長候補者の選考に関する規則第12条第3項の規定による学内外への公表資料について説明があり、審議の結果、了承された。

(2) 今回の選考手続きの課題等について

議長から、今回の選考手続きの課題等について意見交換を行い、今後に向けた課題等を抽出したい旨の説明があった。

続いて、議長の求めにより、学内委員である理事（総務担当）から、資料5に基づき、今回の学長選考の流れとスケジュールの説明があり、意見交換を行ったが、選考手続きとして

課題等になるようなものはなかった。

なお、今後も選考手続きの細かなところについては、引き続き検討していくこととなった。

以 上